

一人ひとりにあった、生きる力をつけるためのキャリア教育はどうあるべきか
～小・中における授業実践を通して～

I 研究の内容

1 研究方法

- (1) 小学校・中学校ともに授業実践を行う。
- (2) 各教科の授業とキャリア諸能力との関連を明らかにし、各校から実践例をもちより共有する。
- (3) 高等学校より講師を招聘し、高校入試制度の課題を検証する。

2 研究の具体的内容

(1) 授業実践

①塩山北中学校（河野美春教諭）第3学年英語科

New Horizon English Course 3 Unit 4 Learn by Losing

目標 ・「疑問詞＋不定詞」の形・意味・用法を理解できる。〈課題対応能力〉

・進路選択に関わって、悩んでいる友人へのアドバイスを考えて書くことができる。

〈人間関係形成・社会形成能力・課題対応能力、キャリアプランニング能力〉

【導入】○教科書の内容を導入し、基本文を確認する。

【展開】○タスク1〔全体→ペア〕how to, what to を使ったドリル活動に取り組む。

○タスク2〔個人→グループ〕相撲力士にあこがれる外国の少年の質問へのアドバイスを考える。黒板にボードを貼ってグループごと発表させる。

【まとめ】○how to, what to の使い方について再確認する。壁にぶつかっても、助け合い励まし合ってそれぞれの夢に向かって努力することについて話をする。

②八幡小学校（小林淳子教諭）第2学年生活科

いっしょにいと あんしん 〔家族单元〕

目標 ・自分でしている仕事を、友達に紹介することができる。

〈活動や体験についての思考・表現、キャリアプランニング能力〉

【導入】○本時の課題「自分のできることを「名人」として友達に伝えよう」の確認。

【展開】○仕事グループごとに、自分のしていることを、実演を交えて発表する。

○聞いている側も、観点表に評価をする。

【まとめ】○「名人」として発表できたか、友達の良さを見つけることができたか振り返る。がんばったことを褒めたり、労ったりする。

(2) 実践・資料発表

塩山北中 英語科（第3学年）「Learn by Losing」、キャリア教育年間指導計画の紹介

八幡小	生活科（第2学年）「いっしょにいと あんしん」、キャリア教育年間指導計画の紹介
山梨南中	職場体験学習の紹介
山梨北中	総合的な学習の時間年間指導計画、高校入試ガイダンスの紹介
笛川中	国語科授業例、キャリア教育年間指導計画の紹介
塩山中	数学科授業例、特別活動年間指導計画の紹介
松里中	英語科キャリア教育関連表、キャリア教育年間指導計画の紹介
勝沼中	英語科授業例、農業体験学習の紹介
大和中	年間指導計画の紹介、学校行事とキャリア教育の関連資料

Ⅱ 成果と課題

1 成果

- ・様々な教科の、授業を通したキャリア教育の実践例を知ることができ良かった。また小学校、中学校両方の授業を参観でき、生徒の発達段階に応じた具体的な姿をイメージすることができたので、自分の授業展開にも生かしていきたい。
- ・夏の学習会では、東山梨地域にある塩山高校から講師を招いてお話を聞くことができた。小学校、中学校で身につけるべきことを考えることができ、視野を広げられた。また、ざつくばらんに色々お聞きすることができ、とても良かった。今後も継続して高等学校の先生方と交流をしていきたい。
- ・各校の実践発表を協議し、情報交換することにより、自校の実践に役立てることができた。
- ・2回の研究授業どちらにおいても本年度のテーマに基づいており、実践を通した研究には説得力があった。
- ・小学校低学年でも役割を担って働く喜びを発表し合えることを知ることができた。小学校の授業から学ぶことは大きく、中学校での指導を改めて考える良い機会となった。

2 課題

- ・これまでの実践発表をまとめ、次年度に引き継いでいけると良い。
- ・小学校の先生の参加状況が少ないので、もう少し小・中のバランスが取れたら良いと思う。
- ・この部会で学んだ有意義な内容を、もっと自校に還元していきたい。
- ・どの学年、どの教科、どの学校生活の場面においてもキャリア教育の視点で見ると、児童生徒の成長につながる新たな発見がある。進路と言うと、毎年3年主任の先生方の参加が多いのだが、誰が参加しても良い部会であると思う。

Ⅲ 研究の成果物

小学校2年（生活科）学習指導案
 中学校3年（英語科）学習指導案
 各校実践レポート

（部長 古屋 友香）